

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年6月30日、午前10時から野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で18,600cells/ml確認され、被害が想定される濃度を越えていました。すでに被害が出ているようですので、餌止めを行うなど十分に慎重な養殖管理をお願いします。

※当該プランクトンは上下に移動(日周鉛直移動)するため、午前中に潮色が良くても午後に着色する可能性があります。また、潮流や風でも移動し、集積する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

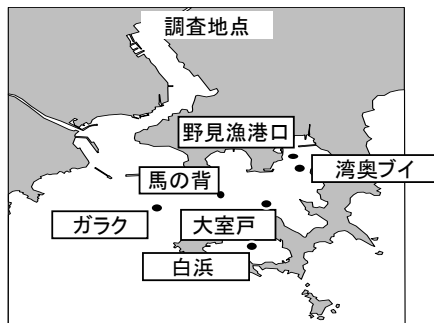
表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ
湾奥ブイ	0m	1,650
	2m	3,600
	3m	12,750
	5m	6,000
透明度: 2.8m		
大室戸	0m	137
	2m	933
	3.5m	4,200
	5m	5,950
透明度: 3.4m		
白浜	0m	17
	2m	5
	5m	2,400
	8m	2,400
透明度: 4.4m		

		カレニア・ミキモイ
馬の背	0m	192
	2m	916
	3.6m	7,800
	5m	15,600
透明度: 3.6m		
ガラク	0m	23
	2m	9
	5m	733
	8m	2,466
透明度: 4.8m		
野見漁港口	0m	1,083
	1m	8,500
	2m	18,600
	5m	7,200
透明度: 1.8m		

漁業被害が想定される細胞密度

●カレニア・ミキモイ(へい死): 数百~数千cells/ml



「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>